

ネットでパス

場所	プレイホール(半面での貸出) いこいの広場		
時間	1時間		
値段	無料		
季節	年間	人数	何人でも
準備物	【利用者】 体育館履き、活動に適した服装、水筒 救急用品など 【自然の家】 ゲーム用具一式(ネット、小ボール)		

プログラムの概要・ねらい

ネットにボールを載せて持ち、ペア2組で向かい合い、ボールを投げたり受けたりしてその回数を競い楽しめます。仲間とのコミュニケーション力や個人の運動能力の向上を楽しく身につけることができるレクリエーションである。

自然の家の場所や時間を有効に活用して楽しめるゲームである。

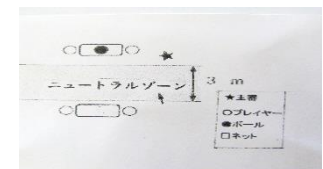
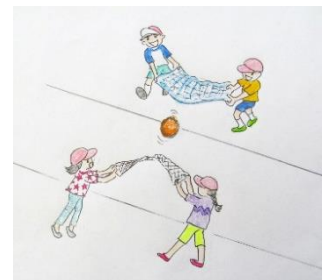
①準備

バドミントンコートを使用する。

サービスセンター受付でプレイホール倉庫の鍵を受け取り、倉庫よりゲーム用具一式と小ボールを準備する。

②実施の流れ

- ゲームを紹介する。
- 練習をする。
 - ・チームで練習する。(ペアで真上に上げてキャッチしたり、ワンバウンドでキャッチしたり、距離を離したりして練習)
- コート
 - ・バドミントンコートの半コートで同チーム2ペアがプレイする(1コートで4ペア実施)。サイドラインとセンターラインでニュートラルゾーンを示す3m間隔に立ち、片方のペアがネットにボールを載せて他方のペアに投げる。ボールを受けたり、投げたりするゲームで受けた回数で競う。
- ルール、実施の流れ
 - ・2ペアでボール1個 : 4名
 - ・バトルタイム(試合時間) : 2分間
 - ・審判 : 1名(主審)
 - 審判の役目 : ①スタートとゲームアップのコール ②キャッチが成功した回数のカウント ③ペアで大幅にニュートラルゾーン内に入ってキャッチした場合はノーカウントを宣言
 - ・審判の「よい、スタート」の合図でボールを交換し合う
 - ・ノーバウンドでキャッチできて1回とカウント
 - ・2分間の競技終了で、何回できたかカウントする
 - ・その合計回数が全体チームの得点とし記録する
 - ・競技時間内でのペアの変更は作戦の一つで自由。しかし、同じペアだけで行うことは反則
 - ・キャッチを失敗したら、ボールを拾ってもとに戻り繰り返す
 - ・審判の「終わり」の合図で終了



※安全には十分に気を付け、けがのないよう留意する

③後片付け

備え付けの掃除用具で、プレイホールの床をモップがけする。

使用した器具や用具を倉庫の元の場所へ片付ける。

倉庫の鍵をサービスセンター受付へ返却する。

器具や用具に破損や故障があった場合は、サービスセンター受付に申し出る。